

問1 アンデス山脈の高地における伝統的な住居の構造と、その材料が選ばれた背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。

(2018年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 標高が高く樹木が育ちにくいため、身近にある石や土を固めた日干しレンガを主な材料としている。 | 2. 季節風による大雨や洪水から家を守るため、コンクリートを用いた高床式の住居を建てている。 | 3. 熱帯のジャングルに囲まれており木材が豊富であるため、丸太を組み合わせた通気性の良い家を作っている。 | 4. 草原地帯で放牧を行いながら移動を繰り返すため、布や動物の毛皮を用いた組み立て式のテントに住んでいる。 |
|--|--|--|---|

問2 南アメリカ大陸に位置するアルゼンチンの地理的特徴と産業について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 東南アジアの半島部に位置し、熱帯の気候と大規模な河川による灌漑を利用して米の生産を行い、日本への輸出も積極的に行っている。 | 2. 約280万平方キロメートルの広大な国土を有し、とうもろこしの生産や豚の飼育などの農牧業が盛んで、日本にも多くの農産物を輸出している。 | 3. 世界最大の国土面積を持ち、寒冷的な気候に適したライ麦の生産や、天然ガスなどのエネルギー資源の輸出が経済の柱となっている。 | 4. アフリカ大陸中央部の赤道付近に位置し、広大な熱帯雨林と豊富な地下資源を持ち、銅などの鉱物資源の輸出が産業の中心である。 |
|--|---|---|--|

問3 ブラジルの環境問題に関する記述として、統計上の事実に基づいた正しい説明はどれですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 1990年代から2010年代にかけて、工業化の影響で森林面積は減少しているが、肉牛の生産量は横ばいである。 | 2. 1990年代から2010年代にかけて、道路建設による森林破壊は進んでいるが、牧草地への転用は法律で厳しく禁止されている。 | 3. 1990年代から2010年代にかけて、牛肉の生産量増加に比例するように森林面積の減少が続いている。 | 4. 1990年代から2010年代にかけて、環境保護政策の成功により森林面積の減少と肉牛の飼育数は共に抑制されている。 |
|--|---|--|---|

問4 2016年における世界全体の地下資源産出量の統計において、ブラジルの鉄鉱石やチリの銅鉱石などが大きな割合を占め、アジア州やアフリカ州、オセアニア州などとともに世界の資源供給の重要な拠点となっている州はどこですか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. アフリカ州 | 2. ヨーロッパ州 | 3. 南アメリカ州 | 4. オセアニア州 |
|----------|-----------|-----------|-----------|

問5 オセアニアに位置するオーストラリアの貿易について、2013年の統計資料では輸出総額の上位2品目が鉄鉱石（約672億ドル）と石炭（約386億ドル）となっていることが示されています。このようなこの国の貿易の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 羊毛や小麦の輸出が中心であり、鉱産資源の輸出は極めて少ない。 | 2. 原油の輸出額が最も多く、次いで天然ガスが多くなっている。 | 3. 酪農が盛んなため、チーズやバターといった乳製品が輸出の大部分を占めている。 | 4. 石炭や鉄鉱石といった豊富な鉱産資源が主要な輸出項目となっている。 |
|-----------------------------------|---------------------------------|--|-------------------------------------|

問6 太平洋に点在するフィジーなどの島々や、オーストラリア、ニュージーランドなどは、世界の地域区分において同じグループに分類されます。赤道付近から南半球にかけて広がるこれらの地域を総称して何といいますか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|---------|----------|----------|
| 1. オセアニア | 2. アフリカ | 3. 東南アジア | 4. 北アメリカ |
|----------|---------|----------|----------|

問7 南アメリカのアマゾン川流域では、世界的な需要に応えるための食料増産や資源開発が進められています。このような開発が自然環境や社会に与えている影響について述べた文として、最も適切なものを選んでください。 (2022年 宮城県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 乾燥した土地を農地にするために大規模なかんがい施設を整備した結果、地下水が枯渇し、塩害によって農業の継続が困難になっている。 | 2. 農地開発などのための伐採によって熱帯林の減少が進み、そこを生活の拠点としてきた先住民の生活環境や文化の保護が課題となっている。 | 3. 急速な工業化にともなう排煙が原因で酸性雨が降り、広範囲にわたって森林の立ち枯れが発生し、生態系に深刻な被害を与えている。 | 4. 地球温暖化の影響で降水量が極端に減少し、熱帯林だった地域が急速に砂漠化して、先住民が居住地を追われる事態となっている。 |
|---|--|---|--|

問8 日本の農業に関する統計において、沖縄県が全国の生産量の約6割を占め、次いで鹿児島県が約4割を占めるという、南西諸島での栽培が盛んな作物は何か選びなさい。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|---------|------|--------|
| 1. さとうきび | 2. てんさい | 3. 茶 | 4. いぐさ |
|----------|---------|------|--------|

問9 サトウキビやトウモロコシなどの植物原料から作られるアルコール燃料で、石油などの化石燃料に代わるエネルギー資源として注目されているものの名称を選びなさい。 (2021年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|----------|-------------|-----------|
| 1. シェールガス | 2. バイオガス | 3. バイオエタノール | 4. 液化天然ガス |
|-----------|----------|-------------|-----------|

問10 オーストラリアの社会背景の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. かつては白人以外の移民を制限する白豪主義がとられていたが、現在は多様な文化を認める多文化主義に移行している。 | 2. かつては多文化主義によって移民を制限していたが、現在は白人以外の移住を拒む白豪主義がとられている。 | 3. 南アフリカ共和国でみられた人種隔離政策であるアパルトヘイトが、オーストラリアにおいても白豪主義の名で1970年代まで実施されていた。 | 4. 白豪主義とは、先住民であるアボリジニの文化を保護するために、ヨーロッパ系の移民を制限した政策のことである。 |
|---|--|---|--|

問11 南アメリカ大陸の西側に位置し、大陸を南北に約7000kmにわたって貫く、世界最長の褶曲山脈の名称として適切なものはどれですか。 (2021年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. アンデス山脈 | 2. ロッキー山脈 | 3. ヒマラヤ山脈 | 4. ウラル山脈 |
|-----------|-----------|-----------|----------|

問12 ブラジルにおいて、1984年の全輸出品金額が約270億ドル（コーヒー豆は約28億ドル、大豆は約25億ドル）であったのに対し、2024年には全輸出品金額が約3,300億ドル（コーヒー豆は約80億ドル、大豆は約530億ドル）へと変化しました。このデータから読み取れるブラジルの農産物輸出の特徴として最も適当なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. かつて主要な輸出品であったコーヒー豆の輸出額の割合が低下し、大豆の輸出額の割合が大きく増加した。 | 2. 全輸出品金額の伸びに伴い、大豆とコーヒー豆のどちらも全輸出品に占める割合が減少した。 | 3. かつて主要な輸出品であった大豆の輸出額の割合が低下し、コーヒー豆の輸出額の割合が大きく増加した。 | 4. 全輸出品金額の伸びに伴い、大豆とコーヒー豆のどちらも全輸出品に占める割合が増加した。 |
|---|---|---|---|